

市議会6月定例会  
行政報告

「短大設置」大きく前進

経法大に準備事務室

市議会六月定例会が招集された六月八日、小畑市長が行政報告をしました。その中から、主なものの要旨をお伝えします。  
なお、今定例会で審議された案件等については、次号でお知らせします。

秋田短期大学の誘致について

秋田短期大学誘致については、これまで秋田短期大学誘致促進期成同盟会の陳情を始め、地域

誘致について

一丸となった誘致運動を進めてきました。

その結果、秋田経済法科大学では、五月二十八日の常任理事会、三十日の理事会の決定により、六月一日から「大館短期大学設置準備事務局」を設置し、三人の職員を配置した体制で、短大設置に向け本格的な取り組みを開始しています。



現在、市では、既設法人での運営で平成七年度開校、社会ニーズの高い看護、社会情報系の学科設置を要請しながら、大学側と協議を重ねています。設置場所については、国、県と協議をしながら、今後更に検討を進めていきます。また、設置

経費についても、議会を始め関係機関と十分協議しながら煮詰めていきます。

大学等の新設は、十八歳未満人口の急減から厳しい状況です。開設年度が遅れば遅れるほど難しくなります。今後は、短大誘致促進期成同盟会を中心に、七年度開校に向けた誘致運動を更に盛り上げていきたいと考えています。

水稲の生育状況について

近年連続的に異常気象が発生しています。今年も、水稲の播種期の四月中旬から育苗後半の五月上旬まで低温注意報、霜注意報が発令されるなど、平年に比べ低温、多雨で日照時間もかなり少なく経過しました。そのため、大館市農作物異常気象対策協議会を開催して対策を協議し、農家にチラシを配布するなどして対応の周知を図ってきました。苗の生育は、播種直後から続いた低温と日照不足のため、

無加温育苗に出芽遅れが生じましたが、例年発生する高温障害や病虫害が少なくまずまずの状況でした。また、二年産の低温貯蔵した種籾のキヨニシキは吸水不十分で出芽不良になったものもあって苗不足が心配されましたが、関係機関の適切な対応で解消されました。

田植え作業は平年並の五月二十四日ごろ終期に達し、田植え後は好天に恵まれたため、苗の活着はおおむね順調です。

今後は、初期成育の促進と有効茎数確保のため、適切な水管理の徹底と除草剤や追肥等、基本技術を順守するよう指導していきます。

大館能代空港について

大館能代空港は、第六次空港整備五カ年計画予定事業への組み入れが昨年十一月二十九日閣議決定され、地域住民一同心から喜びを分かち合ったところです。しかし、空港の早期実現の

市長リポート



No.23

住環境の整備について

これまで遅れていた基盤整備の中に住環境のことがありますが、住環境の整備を進めていくには、市の状況がどうなっているかを知らないときまみれから、三年度に国の補助を受けて庁内に、プロジェクトチームを設置し、市民や若手の建築士会の皆さんのご協力をいただきながら、大館市住環境整備方針策定調査報告書をまとめあげました。今回の調査で、道路の狭隘や行き止まり、側溝の整備、建物の密集、公園の整備など、住宅地の住環境の状況が大部分かつた訳です。

今年度からいよいよ住環境の整備に取り掛かりますが、報告書の中で、特に問題・課題が多く早急に整備・改善が求められる重点整備区域から、いろいろな国の補助事業を有効に活用し、順次整備していきたいと考えています。

これから、重点整備区域での説明会を開催していきますので、皆さんのご協力をお願いします。

小畑 元